

平成23年度 第4回印西市地域公共交通活性化協議会 会議録

開催日時	平成23年11月16日（水） 午前10時から
開催場所	印西市役所会議棟 204会議室
出席者	中澤浩二会長、上條公司副会長、遠藤和孝委員、山田敏文委員、戸村静夫委員、津留崎隆史委員、小関征二委員、小林久男委員、佐藤信之委員、瀬戸雅一委員、日比生則子委員、唐澤隆治委員、石井 隆委員、豊泉達樹委員（代理 柿澤幸雄氏）、林 競委員（代理 龍崎晃氏）、岩崎英一委員、木村 節委員、山本大助委員、松鶴照明委員（代理 伊藤昌央氏）、鶴岡敏明委員
欠席者	根本久子委員、池田和弘委員
事務局	企画政策課 鈴木課長、染谷課長、酒井室長、飯島、石鍋（株）長大 田端、幸坂
傍聴者	1名

1. 開会
2. 地域公共交通確保維持改善事業費補助の内定について
3. 報告事項
 - （1）実証運行の利用状況について
 - （2）ふれあいバスの利用状況と課題について
4. 議題
 - （1）実証運行の事業評価ガイドライン（案）について
 - （2）実証運行のアンケート調査について
5. その他
6. 閉会

(事務局)

会議に先立ちまして、資料の確認をさせていただきます。

- 資料 1 ふれあいバス実証運行における事業評価ガイドライン (案)
- 資料 2 実証運行の利用状況について
- 資料 3 ふれあいバスの利用状況と課題について
- 資料 3 の別紙 1 (6) バス停ごとの乗降者数
- 参考資料 1 市内のバス路線図
- 参考資料 2 1 日平均乗降人数の合計
- 布佐ルート、印旛支所ルートの時刻表

当日の配布資料として、

- 会議次第
 - 席次表
 - 資料 4 実証運行のアンケート調査について
- 資料の不備はございませんか。よろしいでしょうか。

(事務局)

議事に入ります前に、本日の委員の出欠につきまして、ご報告いたします。

池田委員、根本委員におかれましては、所用により出席できない旨、ご連絡をいただいております。また、松鶴委員の代理で、千葉県交通計画課 伊藤様、豊泉委員の代理で、都市交通タクシーの柿澤部長様にご出席いただいております。

なお、本日の出席委員は 20 名で、協議会規約第 9 条第 2 項により、会議が成立いたしますことをご報告いたします。また、本日の会議につきましては、協議会規約第 9 条第 4 項により、公開とさせていただきますので、よろしくお願いします。

会議の傍聴でございますが、傍聴の申し出はございませんでした。

(事務局)

それでは、議題に入らせていただきます。

議事進行につきましては、協議会規約第 9 条第 1 項の規定により、会長が議長となるとされておりますので、中澤会長に議事進行をお願いいたします。

(会長)

それでは、議事の進行を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

議題に入ります前に、本日会議の議事録確認者について、指名させていただきたいと思っております。本日会議の議事録確認者につきましては、唐澤委員にお願いしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

次第 2. 地域公共交通確保維持改善事業費補助の内定について

(会長)

それでは、次第の 2. 地域公共交通確保維持改善事業費補助の内定について、事務局から説明をお願いします。

(生活交通ネットワーク計画の認定及び地域公共交通確保維持改善事業費補助金の内定について事務局が説明する。その後、岩崎専門官から中澤会長へ補助金内定通知書が渡される。)

3. 報告事項

報告(1) 実証運行の利用状況について

(会長)

報告事項(1) 実証運行の利用状況について、事務局から説明をお願いします。

(事務局が資料2により説明。)

(会長)

ただいま、事務局から、実証運行の利用状況について、説明がありましたが、ご質問等がございますか。

(委員)

3ページについて伺います。発作から千葉ニュータウン中央駅北口までの区間について、このデータは布佐ルートだけを示していますが、重複する西ルートの利用状況についてはどのように読めば良いのでしょうか。利用者からすれば、この区間では先に来たバスに乗るのですから、西ルートの利用状況も関係があると思います。

(事務局)

西ルートの利用状況については、報告2で説明したいと思っています。今後実証運行開始前後の比較分析をしたいと思っています。

(委員)

6ページの印旛支所ルートですが、私は、市役所から中ルートに乗って、牧の原まで行って乗り継いで印旛支所まで日中1往復してみました。

鉄道があるにも関わらず、印旛日本医大駅から多く乗ってきて、印旛牧の原駅南口で降りました。途中は若萩で1人乗ってきただけでした。降りてから買物に行く人がほとんどで、年齢は高齢者でした。このように、数だけの調査でなく、客層など現場をみて調査されれば、中身も濃い調査となると思いました。

8ページのふれあいバスの休日運行ですが、「休日は通勤・通学の利用者に利用されないことが要因と考えられる」ということですが、これだけでいいのか疑問に思います。

例えば私は大森地区に住んでいますが、日曜日は渋滞がひどいのでニュータウンに行くなど言われています。データの分析を行うにあたって、現地の状況を見て書いているのか質問したいと思います。

(事務局)

利用状況は利用者数だけでなく利用目的、目的地なども整理されるべきということで、

今後検討していきたいと考えます。アンケート調査などで調査していきたいと考えます。

報告（２）ふれあいバスの利用状況と課題について

（会長）

報告事項（２）ふれあいバスの利用状況と課題について、事務局から説明をお願いします。

（事務局が資料３により説明。）

（会長）

ただいま、事務局から、ふれあいバスの利用状況と課題について、説明がありましたが、ご質問等はございますか。

（委員）

資料６ページで、市では民間バスに補助金を出しており、ふれあいバスの運行委託費を支出しているという説明がありました。

私は成田線を利用しますが、北総線については利用しません。バランスの問題もあるので、参考までに運賃値下げのために北総線への補助金はいくら出していて、ふれあいバスにはどの位、その他バス会社には合計でどの位出しているのでしょうか。大雑把で良いのでわかれば教えてください。

また、ふれあいバス運行の位置づけはどのようになっているのか。条例等で位置づけられているのでしょうか。あるいは規則があるのでしょうか。

目的を明確に持っていないと、利用者が少ないから運行を中止するということもあるのではないのでしょうか。人数だけでなく移動することにより地域の経済効果もあると思います。何のためにふれあいバスはやっているのか知りたいと思います。

（事務局）

北総鉄道への補助金ですが、県及び沿線自治体等との合意により、印西市としては、年間８，１００万円補助させていただいています。

バス路線への補助金ですが、４路線で１，４００万円程度、ふれあいバスの委託費は５，０００万円前後、あと実証運行としてふれあいバス関係が２，０００万円で合計７，０００万円程度でございます。ふれあいバスの要綱等は現在持っておりませんが、整備するような方向で考えています。

（会長）

この件は報告事項ということで、中身については今後検討する事項です。委員のご質問に対しては検討するなかで、取り上げさせていただければと考えています。

（委員）

８月２２日の協議会で今後補助金は事業者へ直接支払われると聞きましたが、運行経費の中に補助金は含まれているのでしょうか。

(事務局)

資料の運行経費は、経費部分だけです。補助金は引いていない額です。グラフを含め、数値については再度、精査させて頂きたいと考えます。

(委員)

8月22日の資料に運行費用とありましたが、これら運行経費と同じなのでしょうか。数字が少し違っている所がありますので。

(事務局)

グラフの委託費は経費から収入を引いた額です。

(会長)

それでは、運行経費、運賃収入、委託費の関係がわかる資料を次回のときまで整理するという事で事務局をお願いします。

(委員)

バス路線の改善について、基本的にふれあいバスの中での改善策の話となっていますが、運行時間帯の拡大の場合に、通勤通学対応の際、ふれあいバスというスキームでいいのか、100円バスで良いのかという議論があります。例えば通勤定期を導入するかとか。ふれあいバスを越えたサービス形態もひとつあって良いのかなと感じました。

それから、利用実態で途中折り返し系統とか、シャトル機能を中心として乗り継ぎが多い場合には直通系統など必要でないかと思います。

シャトル折り返し便、東ルートから中ルート、あるいは西ルートへの途中までの直通便とかも細かな系統がつけられるのではないかと思います。どこで乗ってどこで降りたかという詳細な分析により、きめ細かい交通サービスができるのかなと思います。今の路線計画は、需要に対して大雑把すぎる気がします。

需要が少ないエリアは、乗合タクシーとかいう、きめ細かいサービス全般を検討してほしい気がします。

(会長)

ふれあいバスの改善策の検討の中で、時間帯の幅を持たせるなど、ふれあいバスの目的に関わってくる部分もありますので、改善策検討の観点の中に加えていただくというようなことで、事務局の方で検討していただければと思います。

4. 議題

議題(1) 実証運行の事業評価ガイドライン(案)について

(会長)

続きまして、議題の(1)実証運行における事業評価ガイドライン(案)について、事務局から説明をお願いします。

(事務局が資料1により説明)

(会長)

ただいま、事務局から、実証運行における事業評価ガイドライン(案)について、前回会議からの継続審議となっている議案の説明がありましたが、ご質問等はございますか。

(委員)

4ページの利用者満足度の目標値についてお聞きします。前回の会議で私が発言したのは、お客様に対して50%が満足すれば達成するのは低すぎると思うという意見でした。今回の資料では、今後の利用意向80%以上と書いてありますが、満足度80%以上と違うのでしょうか。

(事務局)

前回の指摘を踏まえて、「今後の利用意向80%以上」としました。満足度80%以上という意味合いではありません。また利用していただける表現にしました。

(委員)

3は利用者満足度の分類なので、目標値も利用満足度80%以上でないでしょうか。

(事務局)

委員がおっしゃっている通りで、前は「満足度50%以上」で作成しました。今回「今後の利用意向80%以上」となっているのは間違いで、「満足度80%以上」です。

(会長)

4ページの表は「今後の利用意向」を「満足度」に訂正してください。

(委員)

資料2の実証運行の利用状況にある財政負担額は、既に目標値を下回っていますので、目標値になりえないのではないのでしょうか。資料1の4ページ、費用効率面の目標値を見ると布佐ルートは606円/人に対し、負担額で見ると、資料2の1ページの布佐ルートは596円/人となっています。

(事務局)

数字につきましては、再検討させていただきます。本日は費用対効果についての指標を設定することに対してのご意見をいただきたいと思います。

(委員)

その時に、目標はどのように設定し、その理由はこういうことと、もう少し明確に説明したら良いと思います。皆がぱっとわかるようにしてほしい。

(会長)

数字の検討と理由を整理していただきたいと思います。その他質問ございませんでしよ

うか。

(委員)

費用対効果として、基本的に市が行うのですから、事業の収支、採算性だけでなく、政策効果が入っていないといけないと考えるのですが。

(会長)

効果について政策効果の記述があって良いのではないかというご意見ですがいかがですか。

(事務局)

只今のご意見につきまして、事務局で検討したいと思います。

(会長)

議題(1) 実証運行の事業評価ガイドライン(案)でございますが、いま、事務局と打ち合わせをさせていただきましたが、事務局におきまして再度確認を整理させていただきまして、次回協議会においてお諮りをするということをお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(委員一同)

異議なし。

(会長)

異議なしと認めます。

議題(2) 実証運行のアンケート調査について

(会長)

議題(2) 実証運行のアンケート調査について、事務局から説明をお願いします。

(資料4により実証運行のアンケート調査について説明。)

(会長)

ただいま、事務局から説明がありましたが、アンケートについてご質問等があればお願いいたします。

(委員)

アンケート用紙の上部の方に、「このアンケートは、期間中に1度だけ、お答えください。」とありますが、期間中の後段に括弧でいつからいつまでとアンケートの実施期間を明示した方がよいと思います。

(事務局)

そのように期間をいれたいと考えます。

(委員)

今の意見ですが、期間を入れてしまうと、回収率が低い場合に再度アンケートをかける時に困るのではないかと思います。

(事務局)

印刷してしまいますと、そのような形でできませんが、例えば、回収箱にアンケートの実施期間を入れるのであれば問題ないと思うので、そのような形で期間を明示して実施したいと考えます。

(委員)

「あなた自身についてお知らせください」という問の「ご自宅近くのバス停」は「乗車したバス停」という表現の方が良いのではないかと思います。

バス停区間の真ん中位に住んでいる人は、どちらを書いて良いか分からなくなりますし、「目的地のバス停」も入れた方が詳細なデータが取れるのではないかと思います。

(事務局)

ご指摘いただいた点につきまして、記載内容を直したいと思います。

(委員)

問4・5ですが、「布佐ルートの良い点は何ですか」「悪い点は何ですか」とありますが、表現として「布佐ルートの便利な点は何ですか」「改善すべき点は何ですか」とプラス思考となるような表現にしていただけたらと思います。

問5の中で4. 鉄道との接続時刻が悪いとありますが、問5は悪い点を聞いているのですから、「悪い」をとって「鉄道との接続時刻」として、「10. 運転手のマナーが悪い・不親切だ」も同じように「運転手のマナー」とするのが良いと思います。

「9. 運転があらい」についても、わざととしている人はいないので、アンケートの設問を読んだ方が気持ち良く回答できるように変えていただきたい。また運賃100円は日本一良い施策だと思っているのですが、運賃については、なぜ聞いていないのでしょうか。

(事務局)

ご指摘いただきましたご意見の修正について検討していきたいと思います。

(委員)

問5の質問の前の方の項目が利便性とするなら、「運転マナー」はカテゴリーが違うのが気になりました。問6の満足度の問題ですが、何に対しての満足度を聞いているのかわかりにくい。抽象的過ぎると思いました。答えやすい、集計しやすいアンケートを考えていただければと思いました。

(事務局)

分かりやすいアンケートにしていきたいと思います。

(委員)

アンケートのサンプル数の回収目標はどの位の目安にしているのでしょうか。

(事務局)

現段階では、1日の利用者数くらいの数字を回収数として想定しています。
その考え方としては、布佐ルートを利用する人は、概ね140人くらいと考えています。
今回、アンケートの実施期間は2週間なので、バスを週1回利用すると考えると約半分の70人になるのですが、少なくとも1日の利用者数くらいのサンプル数までは回収したいと考えています。実証運行の目標値である数値を回収目標としたいと考えております。布佐ルートで60人位、印旛支所ルートで40人位を考えています。

(委員)

高いというか低いというか、1日60人で1週間は7日なので、サンプル数が60人の場合、回収率は1/7くらいになります。無作為抽出ではなく、実際バスに乗られる方なので、バスの利用者がある程度固定された需要ととらえると、ほぼ100%の回収率を狙う必要があります。数字の把握はある程度された方がよいと思います。

(事務局)

ご意見を踏まえて、もちろん事務局の方でサンプル数の回収については検討していきたいと思います。

(委員)

布佐ルートのアンケートは、我孫子市と連名がよいのではないかと思います。
問2は、本日の利用目的か、或いはよく使う目的なのか。通勤通学など色々関係します
ので、ここは丁寧な聞き方にされた方がよいと思います。
問6は今後利用したいのか、今回の実証運行の考え方について満足しているのか、評価
指標がこれから変わるかもしれませんが、評価指標にあわせて記載された方がよいと思
います。

(事務局)

連名については、再度我孫子市と相談させて頂きたいと思います。設問内容につきまし
ては、分かりやすい表現の設問に変えたいと思います。

(会長)

議題(2)について、通常ですと、この場でお諮りするのですが、いくつか修正がある
ので、内容が変わってきてしまうかと思っています。事務局、取り扱いはどうにします
か。

(事務局)

内容的に修正などありますので、本来なら再度協議会を開いて、再度ご審議いただくと

ころですが、時間的に日程がとれれば協議会を開催して、それが難しい場合には、修正案については書面開催を考えております。

(会長)

書面開催でよろしいでしょうか。

(委員一同)

異議なし。

(会長)

アンケートについては、事務局で再度調整をしまして、書面での開催ということで確認をとらせて頂きますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

5. その他

(会長)

その他ですが、事務局から何かありますか。

(事務局)

その他の連絡事項は4点ございます。

①来年度の実証運行について

来年度も引き続き、実証運行を実施し、運行内容について検証したいと考えています。

なお、実証運行の経費については、市の直接経費で実施したいと考えています。理由は国の補助制度の見直し等があります。

来年度も本協議会が、引き続き主体となって検討していただきたいと考えておりますので、ご理解ください。

②バス事業者会議の開催

会議開催が遅れて申し訳ないと考えています。現在、民間バス路線の利用状況を集計分析中であり、集計でき次第、バス会議を開催したいと考えております。状況によっては、バス事業者に、バス状況ヒアリング調査のご協力をいただきたいと思います。

③利用状況など低いこともあり、実証運行の周知のため、市広報12月1日号で掲載を予定したいと思います。

④委員報償について

会議終了後、お渡ししたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

(会長)

以上をもちまして、本日の議題はすべて終了いたしました。議事進行にご協力いただき、ありがとうございました。

(事務局)

以上をもちまして、「平成23年度第4回印西市地域公共交通活性化協議会」を終了い

たします。

長時間にわたり慎重審議、誠にありがとうございました。

平成23年度第4回印西市地域公共交通活性化協議会議の会議録は事実と相違ないことを承認する。

平成23年 / 2 月 / 4 日

印西市地域公共交通活性化協議会

委員

猪澤隆治

